

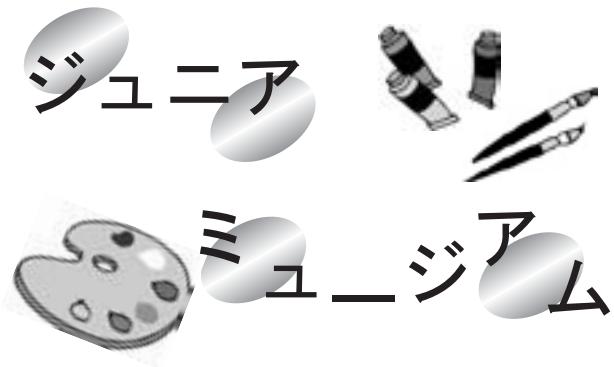
平成19年10月1日

ぼくが一番楽しかった事は、お父さんと二人だけで海へ旅に行つた事です。予定も何も立てずにふらふらと出かけました。朝の5時ごろ家を出たので、ぼくは車の中でねむってしましました。7時30分ごろ目を覚ますと、外にはもう海が広がっていました。お父さんに「今どこを走つてゐるの」と聞くと、「江ノ島の近くだよ」と言いました。ぼくが二年生の時に行つた伊豆に行きたいと言つと、お父さんはオッケーと言つて伊豆の下田に向かつて走り出しました。ずっと海を見ながら走つてお昼ごろに下田に着きました。

着くとすぐに、観光事む所という所に行きました。おじいさんが出てきてお父さんと話をしました。しばらくして、おじいさんがぼくをよんで「どんな所にとまりたいの」と聞きました。ぼくは「広くて大きくて、おろてん風呂がある所がいい」と言いました。すると、おじいさんはいろいろなホテルに電話をしてさがしてくれました。ホテルが見つかってひと休みしていると、お父さんが、「まだ時間があるから、海で遊ぼう」と、言いました。ぼくは、よろこんで一人で海へ行きました。貝がらをひろつたり、ウニやカニをとつたり、3時すぎまで遊んでホテルに行きました。大きなホテルで、ぼくたちの部屋は、7階の海が見えるとてもきれいな部屋でした。夕食の前にお風呂へ行って、おろてん風呂で泳ぎました。とても気持ちよかったです。夕食は、おさしみや金目だいのしゃぶしゃぶで、食べきれないほどでした。旅の一日目はこれで終わりです。いろいろ楽しめたです。



山中くるみさん



ジュニア

ミユージアム

長嶋 珠良くん
じゅら

「夏休みの思い出」



(評) 文字の組立てに気をつけて正しく書けました。はらいが上手ですね。

井深 真鈴さん

長谷川 南さん
みなみ

「みんなであそんだのしいな

」

(評) 石ひろいを楽しんだ様子が画面いっぱいに表現できました。

深沢 誠矢くん
まさや

「思い出の校舎」



(本人のコメント)

皆中の今の校舎は、もう取り壊されてしまうので、しつかり記憶に残るようにと描きました。風景画は苦手なのですが、先生に教わりながら描いたら、自分でもびっくりするような作品ができたのでよかったです。

(評) 「はらい」がいきおい良くとつても上手に書けています。

